

提出者名

フェミニストカウンセラー資格申請書

（提出書類Ⅱ）

下記のA、B、C、Dについてすべて記入して下さい。

A心理学教育歴：下記の①または②のいずれかを記入し、それを証明する書類を添付して下さい。					申請添付書類	
①	心理、社会福祉、教育、社会学、看護、医学のいずれかを専攻し卒業した四年制大学、あるいは大学院（注1）				卒業証明書 単位修得証明書	
	大学、大学院名		学部、学科、専攻			
②	認定心理士資格取得対応科目の単位修得の場合は該当欄に○をつけて合計単位数を記入して下さい。（注2）					単位修得証明書
		a. 放送大学コース(注3) （合計で36単位以上）	科目名と単位数のわかる書類を提出して下さい。		合計単位数	
		b. 一般大学コース(注4)	科目名と単位数のわかる書類を提出して下さい。		単位	
③	一般社団法人日本カウンセリング学会認定カウンセラー、産業カウンセラー初級資格を既得されている方及び公認心理師を取得されている方は、認定番号をご記入のうえ、認定証のコピーを提出して下さい。					
④	資格名称				認定番号	

Bフェミニストカウンセリング研修歴：下記の③～⑥は必須。（注5）

①初級研修 いずれも1回受講	旧基礎講座（2017年までの基礎講座）			
	年	月	会場	修了証No.
	入門研修			
②初級研修 フェミニストグループアプローチ コンシャスネス・レイジング（CR）	年	月	会場	修了証No.
	初級基礎			
	年	月	会場	修了証No.
③初級研修 フェミニストカウンセリングの 臨床Ⅰ	年	月	会場	修了証No.
④中級研修 フェミニストカウンセリングの 臨床Ⅱ	年	月	会場	修了証No.
⑤中級研修 フェミニストカウンセリングの 臨床Ⅲ	年	月	会場	修了証No.
⑥上級研修 フェミニストカウンセラー養成 上級A	年	月	会場	修了証No.
⑦上級研修 フェミニストカウンセラー養成 上級B	年	月	会場	修了証No.

C経験時間：下記の①②③の経験時間の総計150時間以上。 （オンラインカウンセリングは面接相談、SNS相談は電話相談に含む）	合計時間	提出書類Ⅲ
①フェミニストカウンセリングの視点に立った面接相談の時間数 （実際に実施した時間数を記入して下さい。）	時間	
②フェミニストカウンセリングの視点に立った電話相談の時間数	時間	
③フェミニストカウンセリングに関わる実務経験(注6)	時間	

D活動経験：下記の①②いずれかの6ヵ月以上の体験を記入して下さい。（注6）					書ききれない場合 や資料がある場合は添付して下さい。
ジェンダー問題や人権問題に関わるグループ活動や女性支援の分野での活動経験					
関わった機関名		期間			
問い合わせ先		TEL	FAX		
活動内容					

注1 ここでいう“心理、社会福祉、教育、社会学、看護、医学のいずれかの専攻”とは、下記のような意味を含んでいる。  
①いずれも、臨床心理及びカウンセリング、ケースワークに関わる単位が相当数含まれていること。  
②卒業証明書及び修得単位証明書を提出してもらい、認定委員会が単位数に関しての可不可を決定する。

注2 認定心理士とは、日本心理学会が認定する心理学の専門家としての仕事をする為に必要な最小限の標準的基礎学力と技能を修得していると認める資格。

注3 基礎科目の実験・実習が人数制限などのために履修にくい場合は他の科目で単位を満たしてもよいこととする。但し、その場合には認定心理士としての資格申請はできない。

注4 大学に改めて入学しなくとも、聴講等で単位を修得するコース。受講前に、単位が取れる科目であるか、単位が取れる聴講を受ける資格が自分にあるかを必ず確認すること。受講しても単位修得証明書が発行されないと認められないので必ず確認すること。

注5 ③～⑥（グレー及びグリーンの欄）は申請に必須です。必ずご記入ください。その他の講座も受講されている場合は、ご記入ください。特別措置での資格申請をされる方は、申請書のBの講座のうち、⑤及び⑥（グリーン欄）を必ずご記入ください。その他にも受講された講座がある場合は、ご記入ください。申請書のA、C、Dは書ける範囲でご記入ください

注6 ⑥ご自分がファシリテーター又はカウンセラーとして関わったグループワークは、C 経験時間「③フェミニストカウンセリングに関わる実務経験」にご記入ください。ご自分がグループメンバーとして関わったグループ（例：メンバーとしてCRに参加）は、D 活動歴にご記入ください。